

受験番号

令和3年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

中学校 美術 解答用紙 (3枚のうち1)

3	得点	
---	----	--

(1)	<p>① 歌川 (安藤) 広重</p> <p>② イ</p>	/
(2)	<p>観点①季節…夏から秋、夏 (=線の箇所)            観点②時間帯…早朝、朝焼け、朝日=線の箇所)  <b>【キーワード例】</b> (一線の箇所) 山肌、赤富士                              赤く (または赤道色に) 染める など  <b>【例】</b> 富士山は、<u>夏から秋 (または夏)</u> にかけての<u>早朝、朝焼け</u>に<u>山肌</u>  <u>を赤く (または赤道色に) 染める</u>神秘的な現象がある。その一瞬            をとらえたのが、一般に<u>赤富士</u>の名で知られるこの「凱風快晴」            である。  <b>【例】</b> <u>赤富士</u>の名で知られている。赤富士とは、<u>夏から秋 (または夏)</u>            にかけての<u>早朝 (または朝焼け)</u>、黒々とした<u>山肌</u>が<u>朝日</u>に照ら            され、<u>赤く (または赤道色に) 染まる</u>現象をさす。</p>	/
(3)	<p><b>【例】</b> <u>浮世絵</u>の<u>単純ながら表現豊かな描線</u>や、<u>大胆な構図</u>、<u>鮮やかな</u>  <u>色彩</u>に魅了されて模写したことが、後年のゴッホ独自の画風の確            立に、大きな役割を果たした。            (=線にあるキーワードを抑えていること。)</p>	/

受験番号

令和3年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

## 中学校 美術 解答用紙 (3枚のうち2)

4

得点

(1)

題材名	「2025年のジャポニスムに挑戦！」	/
題材の目標	<ul style="list-style-type: none"><li>生徒を取り巻く、諸外国に影響を与える21世紀の日本の造形的な特徴などを、イメージでとらえることを理解する。</li><li>絵の具や、モダンテクニックなどこれまで習得した技法を組み合わせ、意図に応じて自分の表現方法を追求して表すことができるようにする。</li><li>感じ取ったことや考えたこと、心を動かされたものや表したいことをもとに主題を生み出し、表現の構想を練ることができるようにする。</li><li>美術の創造活動の喜びを味わい主体的に21世紀のジャポニスムに挑戦し、平面に表す表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。</li></ul>	/

受験番号

令和3年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

中学校 美術 解答用紙 (3枚のうち3)

4 (2) (続き)

時	活動内容	学習のねらいおよび学習活動 「○」は、学習のねらい 「・」は、学習活動として記せ。
第1時 ) 第2時	課題の把握と 発想・構想	<p><b>【例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○日本美術からヒントを得て造形のさまざまなレベルにおいて、新しい視覚表現を追求した「ジャポニスム」について理解し、題材への関心を高める。</li><li>・「ジャポニスム」に関連した表現を鑑賞し、19世紀の日本の表現に影響された形や色彩など表現の多様性を実感的に理解するとともに、題材への関心を高める。</li><li>○「ジャポニスム」について理解する。</li><li>・「ジャポニスム」に関連した表現を鑑賞し、形や色彩など造形要素の視点からどのように影響を受けたのかについて、「ジャポニスム」の作品画像が印刷されたワークシートをもとに、6人程度のグループで話し合う。</li><li>・生徒が自己を取り巻く環境から「2025年のジャポニスム」だと思える資料を集める。</li><li>○「2025年のジャポニスム」というテーマから想像を膨らませ、の主題を生成する。</li><li>・夢や想像などから、「2025年のジャポニスム」の主題を生成し、絵の具や、モダンテクニックなどこれまで習得した技法などを組み合わせ表現の構想を練る。</li></ul>

(3)

「努力を要する」と判断した生徒への指導方法の工夫	
「ジャポニスム」を感じさせる形や色彩などの例の中から、心に留まった内容に気付かせる。その内容のもつ形や色彩に着目し、身の回りの様々な事象に置き換えさせる。それは、日常の生活から生まれる場合もあれば、創造の世界から生まれる場合もある。生徒ときめ細かに対話することで、自ら「2025年のジャポニスム」主題を引き出させる指導を行う。	